

Lead

All roads lead to the future リード



コミュニケーションペーパー
2012 夏号

¥0
TAKE FREE

地球をひも解く

高知がリードする地球規模の地質研究最前線

ようこそ高知大学へ!

学部紹介

のぞいてみよう高知大学の授業!!

〈人文学部〉ラボ通信

〈教育学部〉まなびの時間

高知大学のキラ星大特集!

高知大学未来への挑戦

脇口宏学長インタビュー 高知大学のこれから

高知大学ニュース

土佐市宇佐町 横浪メランジュ「南海地震の痕跡を探る」

高知大学で開催するイベントをご紹介します。

イベントインフォメーション

Event information

2012 Summer 夏号

オープンキャンパスのお知らせ

Open campus 2012

朝倉キャンパス

8月4日(土) 人文学部 時間 10:00~15:00

入試や学生生活の質問に教員・在学生が対応します。●学部・学科紹介●入試相談●在学生による相談コーナー●保護者の方への案内●模擬授業●在学生の話(詳しくは、人文学部ホームページで案内します。)
<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>

8月4日(土) 理学部 時間 10:00~15:00

●学部紹介●学部構成と入試概要●わたしの大学生活(先輩の話)●パネル展示と入試相談コーナー
※理学部1・2号館、情報棟、地震観測所、水熱化学実験所(附属施設は自由に見学できます。)

8月5日(日) 教育学部 時間 10:00~15:00

●学部説明●平成25年度の入試について●学校教育教員養成課程、生涯教育課程のコース紹介●入試相談・生活相談

8/4 土佐さきがけプログラム 相談ブース 時間 10:00~15:00

8/4 8/5 保護者向けガイダンス 就職・奨学金・授業料免除・留学関係の説明を行います。他、景観学ツアー・サークル紹介

岡豊キャンパス

8月5日(日) 医学科 時間 13:00~16:00

●医学科説明●入試情報●模擬授業●スキルラボ実習体験●研究室見学●教員・在学生への質問コーナー

8月5日(日) 看護学科 時間 10:00~12:30

●看護学科説明●入試情報●カリキュラム説明●実習室見学・体験●教員・在学生への質問コーナー

物部キャンパス

8月5日(日) 農学部 時間 10:00~15:00

●高知大学農学部の見どころ・学びとは●役に立つ入試情報●コース別企画により各コースの魅力に触れる●在学生による大学生活紹介●パネル展示●キャンパス内施設見学と研究室めぐり●入試・相談コーナー(開始前と終了後に各1時間)

8/5 土佐さきがけプログラム 生命・環境人材育成コース相談ブース

◎企画の内容、開催時間は変更となる場合があります。◎詳細が決まり次第、順次ホームページに掲載します。(申込方法はホームページに掲載しています)

盛楽今
りし年
だいも
くイ
さん
イベント

岡豊キャンパス
南風祭

10月6日(土) 時間 10:00~19:00

10月7日(日) 時間 10:00~20:45

テーマは「笑つしよ!和つしよ!」

こんにちは。今年の南風祭のテーマは「笑つしよ!和つしよ!」です。10月の南風祭に向けて、実行委員一同精一杯頑張っています。ぜひ一度いらしてください。



朝倉キャンパス
黒潮祭

11月3日(土) 時間 10:00~19:00

11月4日(日) 時間 10:00~20:00

テーマは「絆」

笑顔、出会い、そしてこの祭で得たものをつないでいこう、という願いをこめました。来祭して下さる方、参加して下さる方、そして私たち委員を支えてくださる全ての人への感謝の気持ちを伝えられるような、賑やかで楽しい学祭にしたいと思っています。



ぜひ
お越し
ください



11月3日(土) 第3回ホームカミングデー

今年もホームカミングデーを開催します。同日、黒潮祭(朝倉キャンパス)、物部キャンパス一日公開も開催されますので、学生との交流も是非楽しんでください。卒業生の皆様の多数のご参加をお待ちしています。



主催 国立大学法人高知大学
高知大学同窓会連合会

11月3日(土) 物部キャンパス一日公開



地域の特産物、農産物の販売や人気のトラクター体験コーナーをはじめ、大学を身近に感じられる催しが一杯です。お誘い合わせの上、是非お越しください。



時間 9:00~15:00
場所 高知大学 物部キャンパス
問合せ 088-864-5114

お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学
Kochi University

高知大学広報戦略室

高知大学

検索

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

TEL.088-844-8643
FAX.088-844-8033

〒780-8520 高知市曙町2-5-1
E-mail: kh13@kochi-u.ac.jp

「地震の化石」を 高知の海辺で発見！

平成23年9月、高知県に待望の「世界ジオパーク」が誕生しました。日本で5カ所目の認定を受けたのは、地球の成り立ちがわかる地質を有する室戸市。地球「ジオ」の素晴らしさを体感できるエリアとして、県内外から大いに注目されています。



室戸ジオパーク日韓合同巡検

所は横浪半島の東端近くに広がる五色ノ浜です。正直、「帯は何の変哲もない」磯にしか見えませんが、目を凝らすと、そこにはスゴイものがありました。

「ほら、カミソリで切ったような、薄くてシャープな断層がありますよね。これは南海地震の化石なんです」

高知大生の発見に 世界の研究者が注目！

橋本先生によると、地震が発生すると、毎秒数メートルほどの速さで断層が動くとのこと。この際、約1000度に達する摩擦熱が生じて、岩石を溶かすことがあるそうです。専門用語で「シールドタキライト」と呼ばれる岩石です。五色ノ浜で見られる、カミソリで切ったようなスベスベした岩もそうしてできたものです。

橋本先生らが地震の化石を五色ノ浜で発見したのは平成21年。実は、その6年前には四万十町興津で、同じような南海地震の化石と思われる岩石が確認されています。



横浪メランジュで学生との研究活動

「発見したの
は高知大学の4年生
でした。採集
した岩石を
顕微鏡で観察
するには、薄く
磨く必要があります。根気良く磨かれた
200枚ほどのなかに、1枚だけ、地震の摩擦熱で溶けた
と考えるしかないサンプルがあつたんです」

非常に珍しい発見で、海外の研究者にも注目されたそうです。

自然科学系 理学部門 准教授

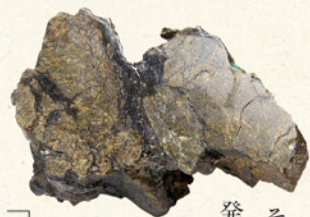
はしもと よしたか
橋本 善孝

北海道大学理学部卒業。博士(理学)。専門は構造地質学。災害科学コースで、地震などの災害のメカニズムを学生に教えている。子どものころから野外での遊びが好きで、研究もフィールドワークの世界へ。

高知の岩石から 南海地震の痕跡を探れ！



地質学者から見ると、高知の地質ほど素晴らしい研究対象は世界でもまだだそうです。最近では、岩石と南海地震との関連についても研究が進んでいます。



それほど重要な研究発表を学生ができる。こうした点こそが構造地質学の大きな魅力だと、橋本先生は語ります。

研究の場として、 高知は世界！

構造地質学を研究するにあたって、高知ほど素晴らしい場所はない、と橋本先生は断言します。

「実は、高知県の付加体は世界で最も研究されているんです。陸上の



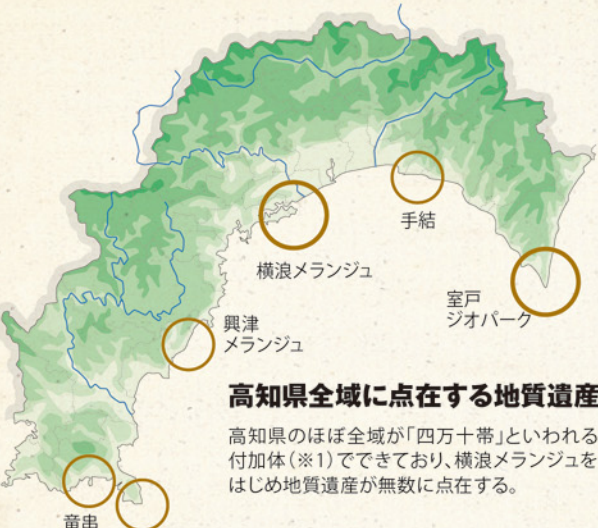
観察用にスライスされた岩石



シュードタキライトの痕跡を顕微鏡で探る

これまでも、これからも変わらない、多くの研究テーマです。高知大学には南海トラフのコアなどを保管、研究する海洋コア総合研究センター(P3)もあり、構造地質学を研究する場として、世界だと思っています」

世界を見渡してもほかに類のない、高知ならではの充実した環境を生かして、橋本先生は構造地質学の研究に取り組んでいます。

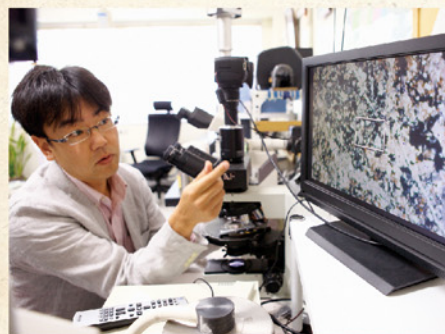


高知県全域に点在する地質遺産

高知県のほぼ全域が「四万十帯」といわれる付加体(※1)でできており、横浪メランジュをはじめ地質遺産が無数に点在する。

付加体で研究対象にできるのは、ほかにはアラスカなどの冒険の心構えが必要な場所。高知ほど研究しやすいところは世界中どこを探してもありません」

高知の地質は、高知大学などによって長く研究されてきました。そして、いまの注目株がここ横浪半島。メランジュと呼ばれる、研究者にとっては興味津々の地形もあり、橋本先生が足繁く通うフィールドになっています。



顕微鏡で岩石の断面を観察する

※1 付加体

海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む際、海洋プレート上の堆積物がはぎとられ、陸側にぐいぐい押されて現れた地質体。高知県はほぼ全域が、南海トラフではぎとられた堆積物の付加体からできている。このため、陸地で南海地震の痕跡を探ることができる。

※2 メランジュ

「ぐじゃぐじゃ」という意味のフランス語が語源。さまざまな種類の岩石が複雑に混じり合い、その広がりか地図上で表せるほど広範囲に分布する地質体のこと。地質学者にとっては素晴らしい研究対象。

「五色ノ浜の横浪メランジュ」は国の天然記念物



海洋コアの採集には、北はベーリング海南は南極海まで赴くことも



世界から集まる研究者たち
掘削船「ちぎゅう」にて



海洋コア 総合研究センター

国内に類のない海洋コア専用の保管・研究施設で、平成15年に完成。前身は平成12年に設立された海洋コア研究センター。約1600㎡の冷蔵倉庫を有し、大量の海洋コアを保管できる。高性能研究設備を導入しているのも特徴で、保管のみならず、解析、応用研究まで一貫して行える。



海洋コアの磁気を解析するための装置

国際海洋掘削の拠点がここ高知大学に！

—まず、コアについて、わかりやすく説明していただけますか。

池原 地球科学などで使われる試料で、掘削船という特殊な船が海底を掘って採ってきます。コアは円筒状に海底の地層を切り取ったもので、堆積物や岩石が詰まっています。日本の掘削船「ちぎゅう」は世界最高性能を誇り、マントルまで掘り抜き、巨大地震発生に関連するコアを採集することもできます。

—そのコアを専門に扱っているのが海洋コア総合研究センターです。

池原 海洋コア総合研究センターはコアを専門に扱う日本唯一の研究施設です。設立にあたっては、東京大学なども候補にあがりましたが、海に近いという立地条件、海洋研究や地球科学の豊富な経験などから、高知大学に決まりました。

—「ちぎゅう」が採集してくるコアも、海洋コア総合研究センターに集まっていますね。

池原 南海トラフで採集したものを始め、日本近海のみならず、世界各地の海で採った貴重なコアを保管、研究しています。国際的な海洋掘削プロジェクトで採ったコアを保管する拠点は、ほかにはドイツとアメリカにしかありません。世界の三大研究拠点の一つが、ここ高知にあるんですよ。

世界三大コア研究拠点で、 地球の歴史を考える

掘削コア科学
プロジェクト
研究拠点

高知だからこそわかる真実

地球科学の魅力について、高知大学海洋コア総合研究センターで研究に携わる池原実准教授、山本裕二助教が大いに語ります。聞き手は橋本善孝准教授。



海洋コア総合研究センター
自然科学系 理学部門 助教

山本 裕二

東京工業大学理学部卒業。博士(理学)。専門は古地磁気学。少年時代、ボーイスカウト活動を通じて自然に興味を持つ。理系ながら歴史も好きで、自然の歴史を科学的に理解する地球科学の道へ。

海洋コア総合研究センター
自然科学系 理学部門 准教授

池原 実

金沢大学理学部卒業。博士(理学)。高知大学の掘削コア科学プロジェクト研究拠点リーダー。専門は古海洋学。NHK特集『地球大紀行』に感銘を受けて、地球科学の道へ。七つの海を制覇した海の旅人でもある。

〈聞き手〉橋本 善孝

コアに隠されている地球の秘密とは？

—コアを使った研究は本当に面白いですよ。

山本 海洋掘削をすると、数百メートルも続く地層を一度に見ることがができます。地球の歴史を連続的に知ることができるのは、研究者にとつて大きな魅力です。コアには地震や地殻変動、地磁気のほか、さまざまな地球科学のデータが記録されているので、多彩な分野の研究者が共同で研究します。こうした点にも魅力を感じますね。

池原 ここにいる3人はみな経験していますが、掘削船での研究も非常に面白い。世界中から集まる研

究者たちと、同じ船で一緒に研究できるんですからね。論文でしか知らなかった、世界的に著名な先生方とも知り合いになります。視野が広がりますね。

—コアの研究とは、地球自体の歴史を解き明かそうとしていることでもあります。何とスケールが大きいというか？

池原 地球がどういった歴史を歩んできて、いまどのような状態にあるのか、われわれが知らないことはまだたくさんあります。

山本 地球は生きていて、進化を続けています。将来、地球がどうなるのかを知るためにも、過去を知ることが大切です。大学の授業では「100万年前の地球では」と平気で話しますが、学生たちはピンとこないようですが(笑)。



分析装置を用いた成分調査

—お2人はコアを使って、どのような研究をされていますか。

池原 主な研究対象は気候変動の仕組みです。海流や水温、プランクトンの種類などが、現在までにどういった変化をたどってきたかを調べています。

山本 地球の歴史のなかでの地磁気の変動を調べています。たとえば、いまは磁石が北を指しますが、78万年よりも前は南を指していました。コアを調べると、こうした知られざる地球の動きがわかります。

絶対の環境で学び、世界へ飛び出せ！

—地球科学を学ぼうとする人たちに、高知大学は非常にいい大学だと思います。

山本 横浪メランジュなど、地質の現場がすぐ近くにあるのは、本当に素晴らしいこと。私は関東の大学で学んだのですが、



冷蔵倉庫に保管されている大量の海洋コア

—最後に、大学受験を控えた10代の人たちにメッセージを。

池原 若い研究者を世界に送り出すパワーが、高知大学にはあります。地球科学ではまだまだわからないことも多い。若い研究者でも新しい発見をすると、世界で注目される存在になりますよ。

山本 野外に出るのが好きな人には向いている分野です。ぜひ高知大学と一緒にやりましょう！

—では、私も。自然からメッセージを受けるのはすごく面白いことです。高知では身近なところできるので、「一緒に新しいことを発見しましょう！」

高知大学、未来への挑戦

〈インタビュー〉テレビ高知アナウンサー 竹村志麻さん



平成24年4月、脇口宏新学長が就任し、高知大学は新たなスタートを切りました。そこで、テレビ高知アナウンサーの竹村志麻さんをインタビュアーに迎えて、これからの大学の進化に向けた取り組みについて話を聞きました。

Interview

真のエリートたる人材を育てる

●竹村 学長が考える理想の高知大学像を教えてください。

●脇口 大学には教育と研究、国際貢献も含めた社会貢献の3つが求められています。高知大学はこの3つの柱が相補的・相乗的に作用するように、教職員、学生が自律的に協働出来るネットワークが構築されている大学であって欲しいと考えています。

教育面では、国や社会で自分がどういう役割を果たすか、学生が学びの中で見つけられる大学でありたいと思います。

現在、若者たちの早期離職が社会問題になっていますが、社会では自立的学習能力や問題解決能力が求められます。そこで高知大学では、問題解決型の自立的な学習のすすめを実践し、社会に出てからも力を発揮できることを目指しています。また今後、総合的教養教育というものを構築して、学生に社会人として必要な教養と専門分野の知識の両者を身につけてもらいたいと考えています。視野を広げるための教養教育と、人間性を骨太にするための失敗からの立ち直り、あるいは社会でのインターンシップや地域協働などに参加して世の中のありようを認識することなどで、社会が求める人材が育つのだと信じています。

●竹村 高知大学の教育といえ、この4月にスタートした「土佐さきがけプログラム※」が注目されています。

●脇口 従来の学部・学科にとらわれず、学部横断的かつ、学部統合的な教育を行うのが「土佐さきがけプログラム」の特徴です。このプログラムによって幅広い教養と物の見方ができる、いわゆる俯瞰力や洞察力を身につけた学生を育て、社会に送り出したい。さらに将来的には、これをベースに新しい学部や学科ができればと思います。

●竹村 入学式の際に、新入生に向けた挨拶で「エリートたれ」とおっしゃいました。学長の考えるエリートとはどういうものですか。

●脇口 真のエリートというのは、社会の方向を決めて牽引するだけの指導力を身につけ、同時にそれに伴う義務を負う者だと思います。日本の大学の中で、国立大学法人は3割しかありません。高知大学に入学したということは、それだけの狭き門をくぐり、国民の税金で教育を受ける権利を享受し、社会の

※「土佐さきがけプログラムとは」

時代の一步先を進む人材の育成を目指した高知大学独自の教育プログラム。

平成24年4月にスタートした、従来の学部や学科での学びにとどまらず、学問を横断的かつ総合的に学ぶ独自のカリキュラムにより、幅広い知識と応用力を育みます。現在、3コースが設置されています。

- ・国際人材育成コース
- ・スポーツ人材育成コース
- ・グリーンサイエンス人材育成コース

指導者の予備軍として卒業していくわけです。だから、エリートとしての矜持を持つて学んでほしい。そして社会に出たときには、責務を果たす自覚と責任感を身につけてほしい。こうした想いを「エリートたれ」という言葉に込めました。

高知から世界に発信する研究を

●竹村 高知大学の特徴的な研究について教えてください。

●脇口 様々な研究が行われているのでピックアップするのが難しいのですが、例えば医学部の研究としては、さい帯血の幹細胞を使っ

た脳性まひの治療が注目されています。成果が出るのは少し先ですが、中枢神経以外の再生医療への利用なども期待できます。もうひとつ言うならば、海に囲まれた高知県ならではの研究でしょう。物部キャンパスにある海洋コア総合研究センターや大学院黒潮圏総合科学専攻のように、海をテーマにした研究に対して、理系、文系の



研究者が共にアプローチしています。高知の風土があるからこそできる研究、高知大学だからこそできる研究をこれからも積極的に進めて、世界に発信していきたいと思っています。

高知大学を目指す若者たちへ

●竹村 社会貢献ではどういった特徴、存在感を確立されたいと考えていますか？

●脇口 国立大学法人に求められているのは「地域に根差した大学」ということです。おらんくの大学と言ってもらえるように、高知の子どもたちに今まで以上に入学しても

らい、より多くの優秀な人材を輩出して、高知の発展に貢献しなければなりません。産業振興についてもバックアップできるように、地域と密接につながっていきたいですね。大学と行政、あるいは市町村も加えて、スクラムが組める部分はもっとあるはずだと考えます。

●竹村 なかなか高知の子どもたちが高知大学に入れないという現状、あるいは卒業生の7割が県外に就職するという厳しい現実があります。

●脇口 まず、高知県の初等、中等教育で学力と人間力をあげるための教育力を向上させる必要があります。そのためにこそ、教育学部にはより優秀な教員を高知県に輩出して教育力を高めるために、より一層の努力が期待されます。

また、医学部では、国の要請でもある地域枠をつくって県内の学生の入学を増やしています。知識偏重ではなく、人間力と学力の両者を見極めるためのAO入試や推薦入試についても、医学部や人

文学部、土佐さきがけプログラムなどで始めています。

●竹村 高知県外から高知大学を目指している人へメッセージをお願いします。

●脇口 日本全国、あるいは世界のいろいろな文化を身につけた人たちに、本学で学んでほしいと思います。そしてお互いの良い点、悪い点を理解する。高知県の豊かな自然と風土、ここで育まれた価値観や文化に、県外出身だからこそ新しい価値を見いだせるのではないのでしょうか。こうしたことが、より良い地域づくり、国づくりにつながると思います。

●竹村 未来の高知大生に伝えたいことは何でしょうか？

●脇口 教えてもらうのではなく、「教えたくさせる」という心構えで来てほしい。これは先ほど言った自立的学習につながるもので、自学自習のレベルが高ければ高いほど、私たち教員はより深く、多く教えたくなるものです。



高知大学には優秀な教員が揃い、自己研鑽し、教育力を高める努力をしています。1年中青い空が輝く温暖な気候の中で学べるのも高知ならではの、常に心を解放しながら仲間とともに学ぶことができる。ぜひ高知大学で、私たちと共に学んでほしいと思っています。

大学での研究や活動などを通して高知の活性化を図る



高知大学 学長
脇口 宏 (わきぐちひろし)

昭和21年7月16日生、愛媛県宇和島市出身。昭和46年、岡山大学医学部卒業後、昭和54年から高知医科大学(現・高知大学医学部)に小児科医として勤務。平成13年、高知医科大学医学部教授、平成20年、高知大学医学部長を経て、現職。「高知に来て、人生の半分を過ごしました。気候はいいし、何より人間が温かい。高知が大好きです」



テレビ高知 アナウンサー
竹村 志麻 (たけむらしま)

高知県高知市出身。お茶の水大学卒業後、南日本放送アナウンサーを経て、現職。現在、夕方6時15分からのニュース番組「イブニングKOCHI」のメインキャスターとして活躍中。「学長がいかにか高知大学を愛していられるかが、強く伝わってくるインタビューでした。これからも高知のために頑張ってください!」

高知大学は、地方にある国立大学として、
地方文化や産業の進展に貢献するとともに、
質の高い教育活動を展開し、地域から世界に発信できる
高度な学術研究を推進しています。

●未来の高知大生へ一言

時代を動かす
生きた知識人たれ



人文学部長

よし お ひろし
吉尾 寛

プロフィール
名古屋大学大学院文学研究科修士
博士(歴史学)
[専門分野] 中国近世史

人文学部

●人文学部とは

人文学部には3つの学科があります。人間文化学科は、人間基礎論・地域変動論・言語表象論の3コースに分かれ、コースでは、心理学・哲学・宗教学・言語学・歴史学・地理学・方言学、文学・文化・言語などを学び、人と世界のつながり、地域の歴史的地理的環境、言語と人間の関係などを探求します。国際社会コミュニケーション学科では、授業を分野・領域に応じて6つのグループに分けたプログラム制に基づいて、各プログラムに配置された授業を体系的に履修することで、その分野の専門知識を深めます。社会経済学科には、地域における総合的な政策立案能力を培うために、フィールドワークを通じて学ぶ総合地域政策コースと、専門的職業人を養成する経済企業情報コースがあります。

●学生時代に失敗から学んだこと

思えば失敗ばかりしていました。でも、失敗したからこそ今の自分があるとも思います。その辺は、ゼミやコンパでご披露しましょう。ただ、友達は大事にしないといけませんよ。

人文学部を目指す君へ 入学までに学んでおいてほしい事

1. 主体的に学ぶための基礎的態度、習慣を身につけておくこと。
2. 英語の勉強を続けること、入学後も英語の学習は必要です。



●未来の高知大生へ一言

人とのかかわりを大切に!!



教育学部長

えん どう たかし
遠藤 隆俊

プロフィール
東北大学大学院文学研究科修士
文学博士
[専門分野] 東洋史学

教育学部

●教育学部とは

子どもとふれあい、子どもの心がわかる教員の養成を目指します。学校教育教員養成課程では、学校の教員に必要な実践的指導力を身につけます。生涯教育課程では、芸術、スポーツ、生活環境の専門を学び、生涯学習社会に役立つ人材を育てます。子どもや教育に関心のある高校生を、待っています。

●学生時代に失敗から学んだこと

失敗に負けず、前向きに挑戦することです。とび箱や鉄棒、数学のテストなど、それができた時の喜びと経験を大切にしてきました。失敗よりも、成功の体験を大事にして、それを次のステップに生かしましょう。失敗は成功のもと。

教育学部を目指す君へ 入学までに学んでおいてほしい事

1. 学校の教師になりたいという強い志を持ってください。
2. 人とのコミュニケーションを大切にする豊かな気持ちを育ててください。



●未来の高知大生へ一言

世界は不思議で満ちている



理学部長

へん み ゆたか
逸見 豊

プロフィール
金沢大学大学院理学研究科修士
理学博士
[専門分野] 幾何学

理学部

●理学部とは

基礎と応用を学べる、ユニークな特徴を持つ学部です。学生は入学後1年間学んだ後に主専攻を選びます。また、2年生の終わりには副専攻を決めます。専門知識を深めたい、幅広い知識を身につけたいなど、様々な目的に応じて、主・副専攻と同じコースを選んだり、それぞれ異なるコースを選んだりすることができます。

●学生時代に失敗から学んだこと

学生時代はたくさんの失敗をしました、失敗の山と言ってもよいかもしれません。そういう意味では、失敗からさまざまなことを学んだ結果、今の自分があると言えると思います。

理学部を目指す君へ 入学までに学んでおいてほしい事

1. 文章を正確に理解したり表現すること。
2. 論理的に考える習慣を身につけること。



●未来の高知大生へ一言

協力するために人は生まれた



医学部長

はし もと よしお
橋本 良明

プロフィール
金沢大学大学院医学研究科修士
医学博士
[専門分野] 法医学

医学部

●医学部とは

医学科と看護学科の2学科です。医学科では、6年の修学期間で医師を養成する医学教育を行い卒業時には国家試験を受験し、合格者には医師免許証が交付され2年間の臨床研修に臨みます。看護学科では、4年の修学期間で看護師を養成する看護教育を行い卒業時に国家試験を受験し、合格者には看護師免許証が国から交付されます。

●学生時代に失敗から学んだこと

残念ながら40年ほど前の遠い学生時代ですので、多くの失敗をしてきたとは思いますが、これといった失敗談を思い出せません。それだけ失敗経験が身に染み込んで活かされているということでしょう。

医学部を目指す君へ 入学までに学んでおいてほしい事

1. 日本の歴史、特に皆さんの夢線に触れた幾人かの歴史的偉人の事績を学ぶ。
2. 生命、健康、社会生活に係る書物から各自の興味に従い幾つか選択し、広く学ぶ。
3. 地球、環境、科学基本原理に係る書物から各自の興味に従い幾つか選択し、広く学ぶ。



●未来の高知大生へ一言

自然に学び、今と大事に
自分を磨け



農学部長

いし かわ かつ み
石川 勝美

プロフィール
九州大学大学院農学研究科修士
農学博士
[専門分野] 植物環境システム学

農学部

●農学部とは

生命、エネルギー、安全な食料の生産確保、環境の保全、生物資源の有効利用などを学び、山から海までのフィールドで生じる諸問題の理解と問題解決能力を身につけ、社会に貢献できる人材を育成します。

●学生時代に失敗から学んだこと

知っているつもりが、実は何も知らないでいる自分にショックを受けることが、多々ありました。そんな時、先人の知恵が一杯詰まった書物は、知識を与えてくれるばかりか、人生に深みを与えてくれます。単なる知識は「知識自身」であり、主体的意識の持ち方こそ重要だと気づかされたのです。

農学部を目指す君へ 入学までに学んでおいてほしい事

1. たくさんの書物などに触れておいて下さい。
2. 何か一つ自信のあるものを見つけておいて下さい。
3. なぜ学ぶのか、折にふれ自らに問いかけて自分を見つめて下さい。



伝統文化としての武道をどのようにして現代に継承していくべきかをよく考えます。武道の修行を通して、どんな状況でもひるまな心をつくりたい。そのために、スポーツ心理学の方法論をどのようにアレンジして稽古に取り入れるか、それが研究課題です。たとえ同じ状況であっても、自身の捉え方次第でピンチをチャンスへ転換することができます。この考え方を普段からどれだけ意識して稽古できるか、それによって実力の向上はまったく違ってきます。剣道部員達は皆この課題に向き合いながらよく頑張っています。これからの活躍がとても楽しみです！

キラ★

学内外でキラッと光る

高知大生

頑張っている人をピックアップ! Special

はじける！
体育系

スポーツ心理学
人文社会科学系
教育学部専門准教授
の
矢野 宏光
プロフィール

昨年4月に高知大に赴任し、同時に剣道部の監督に就任。日本最速の33歳で剣道七段を取得。現在、44歳・剣道教士七段。その指導には定評があり国内のみならず海外からも指導を請うオファーが多数。2006年の世界剣道選手権大会では、無名だったスウェーデン王国・ナショナルチームを率いて、5位入賞の快挙をあげている。

剣道部

常に歩みを止めないで心と武道を繋ぎ上を目指していく。

高知大学剣道部の歴史は長く50年余り。古き伝統を受け継ぎながら、生涯にわたって続けられる正しい剣道を指導しています。剣道部員には教員志望の学生が多く、自分が競技者として剣道を実践するだけでなく、「おしえる」という視点で剣道をみている者も多いです。また、今年度から義務教育で武道が必修化されました。今まさに武道が教育現場で必要とされています。本学剣道部では、子どもの剣道指導などの活動を通して将来に向けた「指導力の育成」にも力を入れています。何事もやらされているうちは上達に限界があります。「うまくない」「強くなりたい」と自らが強く望む自発的な意識が最も重要なのです。ですから、剣道部の年間の計画も稽古内容も、学生が提案しそれをもとにみんなで検討しながら決定しています。

参加チーム(予定)

- 旅鯨人(たびけいじん)
- 天花爛漫(てんからまん)
- 炎(ほむら)
- 醫(くすし)
- 南風(ばいかじ)
- 日章寮(にっしょうりょう)
- 粋恋(すいれん)
- 南溟寮(なんめいりょう)

夏といえは
よさこい!

高知大学では様々な
チームが、よさこい祭りに
参加しています。



奇術部

お客様に喜んでもらうために
技術と表現力を磨く。

奇術部は入部者の約9割が初心者。現在はジャグリングやマジックに興味のある35名で活動しています。練習は週2日のほかに長期の休みを利用した合宿も行っています。昨年は、文化祭や地域のお祭り、イベントなど50件近いステージに出演しました。また、12月には毎年恒例の3年生の集大成であるマジシャンズパーティを開催。毎回100名以上の観客が来場下り、思考錯誤を重ねた個性的なパフォーマンスを披露しています。お客様に見ていただくこと、またその様々な反応が勉強になります。大きな歓声が上がるとやりがいを感じますね。



サッカー部

「基本」と「自立」で、全国制覇を目指します。

練習環境が悪く、満足に紅白戦もできなかった35年前の赴任当初を考えると、現在は恵まれています。部員の増加により今年度から部内のリーグ戦(高知大インディペンデンスリーグ)を開始しました。学業を優先し、サッカーとの両立を重視しています。「基本」と「自立」が指導理念になります。「基本」は、サッカーの技術・戦術だけでなく、基本的な生活習慣(早寝、早起き、朝ごはん)も大事にしています。サッカーは「自立」のスポーツ、自分で判断し実行する必要があります。「基本」と「自立」で全国制覇を目指します。選手には、「自立」した人間になってもらいたいですね。

Boshipan ほうしばん

フリーペーパーづくりは、責任重大ですが
やりがいがあります。

高知大の活性化を目指し、高知大生だからできる高知大生のためのフリーペーパー「Jam」を制作しています。テーマ決めから取材、原稿作成、広告の依頼まですべて自分たちで行っているため、仕事量も多く大変です。生活はJam中心になりますが、発行されて周りの反応が良いと大きな達成感がありますし、取材を通して色々な人たちと交流し、コミュニケーションの輪が広がることが楽しいです。今後は、先輩たちが続けてきたJamの活動をきちんと継続すること、学生の声をもっと取り入れ読者との距離を縮めることが目標です。

知的な★ 文化系

Jamの配布の時に
すれ違った人が
わざわざ受け取りに
戻ってきてくれたのは
本当に嬉しかったですね。



人文社会科学系
教育学部専門教授
の
野地 照樹
プロフィール

サッカーのコーチング・サッカーのゲーム分析を研究テーマにし、サッカー部を指導している。高知大学を全国大会の常連校に押し上げ、Jリーガーを輩出するまでに至る。監督歴35年。



キャンパスの
真ん中にあるグラウンドで
今日も汗を流す。



Boshipan代表
人文学部3年生
こじま かなこ
児嶋 花奈子さん

広報誌Jam
刷り上がった
冊子は我が子も
同然!



デザイン統括
教育学部3年生
いいだ
飯田 ゆきさん



データの向うに地域の姿が浮かび上がる！

「産業連関表」

ラボ通信

産業連関分析

教員

中澤 純治先生



学生

大崎 優さん

12人は指導教員と学生という関係ながら、パートナーとして共同研究にも取り組んでいます。研究内容を教えてください。

中澤 産業連関表を使った研究を行っています。産業連関表とは、産業間での取引や域外との取引を表にあらわしたものです。全国表や都道府県表は整備されていますが、市町村単位ではほとんど作成されていません。そこで、国や県の産業連関表を基に市町村の産業連関表を推計しています。

大崎 産業連関表を使って分析するといろいろなことがわかります。例えば、高知県は農業県として知られていますが、高知市の産業連関表からは、高知市の経済がほとんどサービス業で成り立っていることが読みとれます。

中澤 産業連関表を使うと、経済波及効果を推計することもできます。例えば、高知県では「RYOMAの休日」という観光キャンペーンを行っています。この経済波及効果も産業連関分析でわかるんです。

なぜ、このような研究を始められたのですか？

中澤 高知大学に来る前の話ですが、ある自治体から「うちの地域の経済の姿がわかりません。どうやってとらえたらいいんでしょう」と相談を受けたのがきっかけです。だったら、産業連関表を市町村ベースで使えるように推計の手法を確立しようと思ひ立ちました。かれこれ14年前のことです。

産業連関表で見る市町村の経済事情



▲ 地域資源ワークショップ



▲ ふわふわとうふ作り (西土佐町)



▲ 高知大学学園祭での商品販売



▲ 高知大学学園祭での商品販売

経済の姿を知るのに、産業連関表は格好のツール。うまく活用することが地域活性化にもつながります。



女も男も生きやすい社会に

教育学部

男女共生社会論

個性をつぶす？「男らしさ」「女らしさ」

「これってどう思う？」「どんな時に感じる？」森田美佐先生が講義を行う男女共生社会論では、いつもこんな質問が繰り返されます。それに対し学生は、授業で勉強した理論を基に例えば実体験を語り、想像力を駆使して答えます。受講生は50人余りと人気。女子学生が大半で、男子学生は少数派ながら質疑には積極的に参加しています。

男女共生社会論は、「ジェンダー」の観点から、男性も女性も生きやすい社会とは何か、どうすれば実現できるのかを考える講義です。ジェンダーとは、社会的、文化的につくられた性別のこと。「ジェンダーは、生物学的な男女の違いを示すセックスとは違います。例えば、生まれてすぐの赤ちゃんには男の子ならば空色の、女の子はピンクの産着を着せる病院が多いです。また、今では少し変わってきましたが、ランドセルの色は女の子が赤、男の子は黒が定番になっています。誰が決めたわけ

産業連関表を使うと、それまでのイメージとは違う地域の姿が見えてきて、驚くことばかりです。



ものではないですね。役場の担当者の方や地元企業の方に推計した数字を確認してもらい、さらに修正を加えていきます。

中澤 数字だけ見ていると、どうしても地域のリアリティからずれてしまうことがあります。大崎君も私も、連関表分析とは別に、地域住民の方々との協働の取り組みに参加し、数字が現実と乖離しないように心がけています。

市町村での産業連関表のニーズは増えているんですか？

中澤 景気が低迷して、地域行政も施策に対してきちんと評価し、説明する責任が求められています。そのツールとして産業連関表は最適なもので、研究を始めた当時に比べて格段に増えてきましたね。

現在、どのような研究を進めていますか？

中澤 東日本大震災で被災した東北の市町村の産業連関表を推計し、復興していく過程を表でとらえて復興の度合いを評価するシステムの作成を、立命館大学の先生と共同研究で行っています。また、市町村レベルでの産業連関表の作成手法を、来年までには確立したいですね。



PROFILE

総合科学系
地域協働教育学部 准教授
中澤 純治 (写真左)

出身は京都「市」とこだわりを見せる京都人。立命館大学大学院政策科学研究科修士。博士(政策科学)。平成14年より高知大学にて勤務し、平成22年より現職。今年、第一子誕生で父となる。「高知の豊かな自然の中で、子育てができるのがとてもうれしい」と、父親の顔で話す。

総合人間自然科学研究科(大学院)
人文社会科学専攻 2年

大崎 優さん (写真右)

高知県出身。中澤先生との共同研究に加え、自身の修士論文や就活で忙しい毎日を送る。平成24年3月、第1回財務局学生論文コンテストにおいて、論文『地域経済活性化のための地域密着型金融の深化～高知県の地域金融機関を事例として～』で最優秀賞を受賞。



でもないけれど、社会的にそうなっている男・女の分け方。これがジェンダーです」と、森田先生は説明します。

「男の子らしい」「女の子らしい」とはダメなのか。「それ自体が悪いのではなく、それを押し付けられる状態が問題だ」と思います。子どもは本来、様々な価値観や個性、多様性を持っています。それを『らしくない』という言葉がつぶすかもしれない。さらに男女を二分することは、無意識のうちに上下関係や支配・被支配の関係をつくることにもつながります」。

当たり前前のことに疑問を持つことが大切

講義では、普段どんな時にジェンダーの問題に遭遇しているのか、学生自身が気づくことが求められます。

「例えば男子学生が、『デートでいつも自分がお金を払う。これっておかしくない？』と発言します。すると、『割り勘にすれば』『お金を持っているほうが払えばいいのになどと、様々な意見が飛び出します』。

当たり前だと思っていたことに疑問を持つ。なんとなくおかしいと思ったことを、問題意識を持ち見つめ直す。そこから、社会のゆがみが見えてくる」と森田先生。

講師に聞きました！

PROFILE

人文社会科学系
教育学部 准教授
森田 美佐

高知県出身。津田塾大学卒業後、一般企業勤務を経て、奈良女子大学大学院博士課程修了。博士(生活環境学)。「銀行に勤めて、営業もやりましたよ。その経験から、女性の働き方や、家庭生活とジェンダーについて勉強したい」と、研究の道に入門した。



学生ラウンジ オープン

朝倉キャンパス(ほっとステーション)

学生と職員のための 集いの場が誕生

平成24年4月18日、高知大学朝倉キャンパスにて、学生ラウンジのオープニングセレモニーが開催され、学生・職員約200名が見守る中テープカットが行われました。ラウンジの愛称は学内公募の結果、人文学部3年那須里奈さんの「ほっとステーション」に決定しました。ラウンジは非常勤講師宿泊施設「樗(おうち)クラブ」の1階を改修し、学生や職員が自由に利用できるデッキを設け、リニューアルされました。

ミーティングやランチなど、学生の集いの場として活用できる施設となっており、多くの学生や職員から期待と喜びの声が寄せられています。



ヒラメの放流事業

園児と一緒に放流も

ヒラメ・マダイの放流事業は農学部水族養殖研究室が香南市(旧赤岡町)と連携して平成17年度から本格的に実施しており、今年が最終年となりました。

地元の漁業振興(ヒラメ資源の増加)を目的とし、稚魚を香南市のヒラメ中間育成施設で病気を出不さないよう注意を払いながら約4カ月ほど研究室メンバーで育て、外敵に食べられにくい大きさにしたら、「コウナンシ」の標識を付け、香南市夜須、赤岡、吉川の漁港で放流をします。これまで夜須と種崎でヒラメ、宇佐沖ではマダイの捕獲報告がありました。

また、天候の良い日には、近くの保育園児と一緒に放流を行ったりもしています。



■これまでの放流尾数

平成17年度…ヒラメ3,000匹 マダイ 6,000匹	平成18年度……ヒラメ11,000匹
平成19年度…ヒラメ7,000匹	平成20年度……ヒラメ 9,500匹
平成21年度…ヒラメ7,500匹	平成22年度……ヒラメ 8,000匹
平成23年度…ヒラメ9,000匹 マダイ 300匹	平成24年度(予定)…ヒラメ 9,000匹

中国語センター 開所式

中国との
交流深まる

平成24年5月9日、高知大学と大学間協定校である安徽大学(中国)の黄書記ほか5名と高知大学の職員等が招き、中国語センター開所式を開催しました。両大学間では平成14年に学術交流協定及び学生交流の覚書を締結して以来、学術・学生交流を行っており、平成24年4月から、安徽大学外国語学院の講師を中国語センターに受け入れ、中国語や日本語の授業を行っています。

センターでは今後も両大学生の語学養成や学術・学生交流等を深めていく予定です。

高知大学の情報交流の場 THEこうちユニバーシティCLUB 会員募集中!!

THEこうちユニバーシティCLUBとは?

高知大学の様々な情報がタイムリーに届く交流の場です。

高知大学の教育・研究・地域貢献など大学の動きが分かる他、興味のある分野を登録すれば、欲しい情報が届きます。皆様のご入会をお待ちしています。

お問い合わせ先
国立大学法人高知大学 総務部総務課
Tel.088-844-8640・8116 E-mail: club@kochi-u.ac.jp
高知大学ホームページ▶http://www.kochi-u.ac.jp/

その他のお知らせ

●春の叙勲、高知大学から2名受章

このたび、高知大学から長年教育・研究で功労してきただとして2名の名誉教授が瑞宝中綬章を受章されました。

●高知大学名誉教授 鈴木 堯士(すずき たかし)
●高知大学名誉教授 玉木 清孝(たまき きよたか)

高知大学ホームページがリニューアル

平成24年5月、高知大学のホームページがリニューアルいたしました。高知大学での様々なイベントや入試情報などを随時お届けしてまいります。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス▶<http://www.kochi-u.ac.jp/>

エコチル調査の拡大について

「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の県内の調査地区が拡大されました。

平成23年1月から県内4地区で実施されています「エコチル調査」は環境省が主体となり全国の15地域で行われている国際的な調査です。次世代の環境作りに役立っています。

平成24年5月7日より7地区が加わり県内11地区での調査実施となりました。※追加された対象地区については出産予定日が平成24年10月以降の方が対象となります。

未来の子ども達のために妊婦さんのご協力をお願いしています。ぜひご参加ください。

このからの対象地区

これまでの対象地区

- 高知市・四万十市
- 南国市・梶原町

追加された地区

- 香南市・黒潮町
- 香美市・大月町
- 宿毛市・三原村
- 土佐清水市

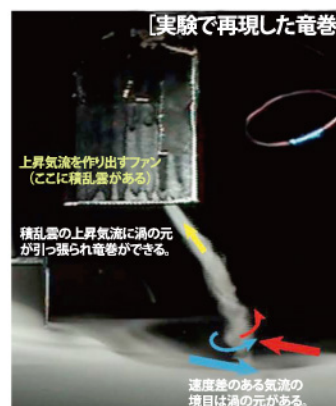
ご協力を
お願いします

エコチル調査
キャラクター「ちよるん」

■エコチル調査コールセンター/TEL.0120-53-5252(9時~21時)
■環境省のエコチルHP/ <http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>
■高知ユニットセンター/TEL.088-880-2173(土・日・祝日のぞく9時~17時)
<http://kochi-ecochil.jp/>

竜巻災害の最前線を調査

高知はなぜ竜巻が多いのか? そのメカニズムを探る



自然科学系理学部門 教授
佐々 浩司(ささ こうじ)
豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程修了、博士(工学)。竜巻の模擬実験など、風に関するさまざまな現象を室内実験で再現して研究を進める。「なぜか渦巻きが好きなんです。だから竜巻も興味があるんです」

平成24年5月6日、茨城県つくば市を襲い、その脅威で日本中を震えあがらせた竜巻。理学部応用理学科で竜巻について研究する佐々浩司教授は、発生翌日に現地入りし、被害状況の調査を行いました。「思った以上に、広範囲に被害が行っていた。に衝撃を受けました。町なかで発生している全壊家屋もかなりあり、被害は甚大。被災状況を考えると、より深刻な人的被害があつても不思議ではないほどでした。被災地の様子を話します。」

今回の竜巻はスーパーセルと呼ばれる巨大な積乱雲が引き起こしたものと。同様の竜巻が高知県で起こる可能性は低いと指摘します。

実は高知県は、世界でも有数の竜巻の多発地域。佐々教授が竜巻の研究を始めたのも、平成12年に高知市で起きたダウンバースト(竜巻と同様に積乱雲から発生する強烈な気流)の被害を調査したことがきっかけです。過去には今回、茨城を襲ったクラスの竜巻が高知県で起こったことも記録に残っています。「昨年まで観測レーダーを使って高知県の調査をしたのですが、上空の積乱雲の中で気流が渦を巻いているのを数多く発見しました。それだけ、竜巻が発生

する可能性も高いのです」と話します。

ではなぜ高知で竜巻が多いのか。「温暖湿潤な土佐湾と背後の急峻な四国山地という地形は積乱雲を発生させやすい地形なのです。海上で発生する竜巻が多い原因はまだ明らかではありません。佐々教授は、竜巻発生メカニズムを解き明かすべく、竜巻を室内で実験に再現する模擬実験やレーダー観測などを行って研究を進めています。

「多発地域である高知ならではの研究で、防災にもつながります。地域貢献にもなりますね」と、研究のやりがい話します。



▲竜巻の被害を受けた風景(茨城県つくば市)

高知大学ニュース

医学部附属病院 新病棟起工式

岡豊キャンパス

へりポート完備の拠点病院へ



平成24年5月22日、医学部附属病院(医病)病棟新営その他の工事の着工にあたり、工事の安全と無事な完成を祈願して岡豊キャンパス新病棟建設予定地で大学関係者や高知県の来賓など約80名が出席し起工式を行いました。

新病棟は現在の病棟の老朽化に伴い全面的な増改築が計画され、屋上にへりポートを完備した免震構造の7階建て、内部は1階に救急部を設置し、2・3階に集中治療部や手術部を配置。重篤患者を24時間態勢で治療する集中治療室(ICU)が現在の6床から12床になる他、周産期医療(※1)に力を入れるため、新生児集中治療室(NICU)を6床から9床に、回復期治療室(GCU)を8床から12床に増やします。4・7階は病室となり、希望者の多い個室を現在の3倍に増やし、より過ごしやすい環境としました。

最新の設備に生まれ変わる病院に脇田宏学長は、「夢にまで見た新病棟の建設が始まりました。これもひとえに関係者の皆様のご尽力の賜。高度医療の提供のみならず、医学教育に連動して、高知県民の命の盾になると確信しています」と挨拶しました。

竣工は平成26年11月の予定です。

(※1 妊娠週28週または胎児の体重が1000グラムに達したときから、出生後1週間前後の期間の母子に生じがちな突発的な事態に対応するための、産科と新生児科とを統合した医療)

